

2024年4月26日

各位

株式会社 みちのく銀行



『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』
SDGs宣言書の策定について

株式会社みちのく銀行（取締役頭取 藤澤 貴之）は、プロクレアホールディングスの「サステナビリティ方針」に基づき、お取引企業のSDGsへの取組みを支援するサービス『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』を提供しております。

この度、下記16社の企業さまに本サービスをご利用いただき、SDGs取組状況の評価、宣言書の策定を支援いたしました。

当行は、今後も本サービスを通じて、お取引先の企業価値の向上や持続可能な経営支援に一層貢献してまいります。

記

1. 企業概要（企業名50音順）

(1)

社名	株式会社あうら (本社：青森県青森市大字駒込字桐ノ沢19-4/代表取締役 川越 真実)
事業内容	高齢者向け住宅の提案・管理・運営

(2)

社名	株式会社アクト (本社：青森県青森市合浦二丁目13-15/代表取締役 伊藤 隼也)
事業内容	建物売買業

(3)

社名	有限会社いまぶち自動車 (本社：北海道函館市西桔梗町853番地8/代表取締役 今淵 克美)
事業内容	自動車一般整備業

(4)

社名	Aspグループ（青森沢井薬品株式会社・岩手沢井薬品株式会社・株式会社メディファス） (本社：青森県青森市旭町三丁目13-46/代表取締役 荒関 宏)
事業内容	医薬品卸売業

(5)

社名	株式会社カネキ中川青果 (本社：北海道函館市西桔梗町589番地25／代表取締役 中川 隆司)
事業内容	野菜卸売業

(6)

社名	株式会社土永米穀 (本社：北海道函館市昭和町22番地88／代表取締役 土永 敬司)
事業内容	米麦卸売業

(7)

社名	東一運送株式会社 (本社：北海道函館市西桔梗町589番地144／代表取締役 木戸浦 久)
事業内容	一般貨物自動車運送業

(8)

社名	株式会社東青アロー (本社：青森県青森市松森一丁目14-31／代表取締役 花田 智樹)
事業内容	管工事業・ガス機器設置、販売、メンテナンス

(9)

社名	株式会社義晃 (本社：青森県三沢市大字三沢字南山55番地6号／代表取締役 蛭名 啓治)
事業内容	映像配給業

(10)

社名	株式会社ハイサポート (本社：北海道函館市日乃出町20番17号／代表取締役 高柳 謙)
事業内容	介護サービス業

(11)

社名	函館工業用品株式会社 (本社：北海道函館市西桔梗町859番地5／代表取締役 小谷 英樹)
事業内容	一般工業用ゴム製品の販売

(12)

社名	株式会社春木商店 (本社：北海道函館市海岸町18-31／代表取締役 春木 日出夫)
事業内容	鮮魚卸売業

(13)

社名	富士見総業株式会社 (本社：青森県弘前市大字紺屋町185番地／代表取締役会長 福士 悟)
事業内容	ガソリンスタンド

(14)

社名	株式会社フルカワ不動産販売 (本社：北海道函館市田家町5番32号／代表取締役 古川 芳隆)
事業内容	不動産販売・仲介・管理業

(15)

社名	有限会社南山林種苗農園 (本社：北海道北斗市文月1番地／代表取締役 南 茂樹)
事業内容	山林種苗生産サービス業

(16)

社名	株式会社リーベ (本社：北海道函館市西桔梗町589番地264 2F／代表取締役 和田 康志)
事業内容	野菜卸売業

2. SDGs取組評価サービス概要

商品名	<みちぎん>SDGs取組評価サービス
取扱店	全店
ご利用対象	SDGs取組みに対して意欲・関心があり、当行に口座のある法人のお客さま
サービス内容	① 「フィードバックシート」の提供 お客さまのSDGs取組状況をヒアリング・評価し結果をフィードバックいたします。 ② 「SDGs宣言書」策定支援 フィードバックシートをもとにした宣言書策定支援を行います。
手数料	22万円(税込)
その他	評価ツールは三井住友海上火災保険株式会社、MS&ADインターリスク総研株式会社が当行向けにアレンジしたものを使用します。

以上

株式会社 あうら













SDGs 宣言書

当社は、経営理念である

「 自分の親を入りたいような施設の提供
～思いやりの介護、福祉を通じて人材育成～ 」

を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
カーボンニュートラルの実現に向けて	<ul style="list-style-type: none">各事業所への太陽光パネルの設置を推進し、再生可能エネルギーの活用に取り組みます。必要な食事数の把握を徹底するとともに、冷凍介護食事業を展開することで、福祉業界全体のCO2及びフードロス削減に貢献します。	   
ダイバーシティを牽引する企業	<ul style="list-style-type: none">女性が働きやすい職場環境を構築し、プラチナくるみんの認定取得を目指します。地域に寄り添った事業展開を行うことで、地域に必要な福祉サービスを提供し、高齢者が安心安全に尊厳を保ちながら生活できる社会を創造します。	   
持続可能な青森県へ	<ul style="list-style-type: none">各事業所の所在する自治体等と積極的に交流することで、強固なパートナーシップを構築し、全世代の人が住みやすい地域を創造します。社会福祉に必要な不可欠な事業展開を行うことで、青森県の福祉サービスを支える企業を目指します。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。



株式会社 アクト

SDGs 宣言書

当社は、経営理念である「青森で叶える、心地よい住まいづくり。」を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
ヒートショックを抑制する、人と環境にやさしい家づくり	<ul style="list-style-type: none">床下エアコンを可能にする設計を行う事で、床下からトイレやお風呂等の通常冷えるスペースを含め、家全体が心地よく温まる住まいを実現し、エネルギー効率化に取り組みます。	
地域と家づくりを牽引するダイバーシティ経営	<ul style="list-style-type: none">女性従業員の積極的な雇用及び人材育成に取り組むことで、性別や立場に関係なく活躍できる組織体制を構築します。人材育成制度の拡充により、お客様の一生に一度の家づくりを支える人材の創出に取り組みます。	
持続可能な地域の創造	<ul style="list-style-type: none">社会課題である、「断熱性」と「エネルギー消費」の解決に貢献する家づくりを行うことで、人と住宅が共存する地域の創造を目指します。県内全域での営業体制を構築することで、地域の雇用創出に貢献します。	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。















有限会社 いまぶち自動車

SDGs 宣言書

当社は、経営理念である「すべては“お客様の笑顔”の為に！」を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
自動車を通じて環境貢献を	<ul style="list-style-type: none">・代車やレンタカーをエコカーに切り替えることで、石油資源の保全及びCO2削減に貢献します。・廃塗料等の産業廃棄物の処理を適正に実施し、環境に配慮した塗料や部品、リサイクル部品を使用することで、3Rの促進に取り組みます。	   
業界を牽引するダイバーシティ経営	<ul style="list-style-type: none">・女性や障害者を雇用し、活躍できる職場環境を構築することで、地域の雇用創出に貢献します。・職場体験の受け入れやYouTubeでの情報発信を通じて、地域を支える人材育成に取り組みます。	   
地域を支える自動車産業	<ul style="list-style-type: none">・独立支援制度により若手経営者を創出し続けることで、次世代が地域を盛り上げる持続可能な社会の実現を目指します。・お客様のニーズに応え続けることで、安心安全な自動車社会の構築に取り組みます。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。

Aspグループ













SDGs 宣言書

当社は、経営の三原則である、

「1.私利私欲を捨てる事 2.現場主義を重視する事 3.責任は最後まで執る事」

を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年4月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
限りある資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none">LEDライトの使用や営業車両へのハイブリッドカー導入を通じて、環境負荷の軽減に取り組みます。薬品の管理がしやすく、廃棄時にコンパクトにまとめることができるパッケージを使用した薬品を提供することで、廃棄物の削減に貢献します。	   
自分らしく活躍できる企業へ	<ul style="list-style-type: none">資格取得支援制度の拡充により、医療関係者及び患者様へ、より力強い手助けができる人材の創出に取り組みます。全従業員が働きやすい職場環境を構築することで、各個人が望む形での活躍を支援します。	   
「薬」を通じて地域に貢献する	<ul style="list-style-type: none">ジェネリック薬品という、安価ながら高品質の薬品を提供することで、消費者支援に取り組みます。災害時等の不測の事態でも「薬」で支援するための仕組みを構築することで、どんな時でも地域の皆さまの健康支援に貢献します。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。













本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。

株式会社 カネキ中川青果

SDGs 宣言書

当社は、経営理念である『新鮮な青果物を消費者に届けるため、「計画的な仕入・販売、常に新しい青果物を販売する」、この考えが食品ロスを抑え、良い経営と、お客様からの信頼に繋がることを信念とします。』を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
環境に寄り添った事業活動	<ul style="list-style-type: none">LEDライトなどの省エネに貢献する設備やエコカーの導入を通じて、CO2削減に取り組みます。野菜の葉など通常廃棄となるものについては、牛や豚等家畜のエサとし寄付することで、廃棄物の削減及び3R促進に努めます。	   
地域を牽引する人材、企業へ	<ul style="list-style-type: none">女性や高齢者を積極的に採用するとともに、短縮勤務などの柔軟な勤務形態を整備することで、従業員へ活躍できる機会を提供します。研修や勉強会の開催を通じて、人材育成に取り組み、地域を支える人材を創出します。	   
農産物で地域の更なる発展を	<ul style="list-style-type: none">地域の農家から積極的に仕入を行うことで、地域産業の活性化及び雇用の維持に貢献します。鮮度の良い安心安全な農産物の流通を通じて、地域住民の健康的な食習慣の形成を支えます。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。

株式会社 土永米穀

SDGs 宣言書

当社は、経営理念である

「誠意、感謝、信頼を社訓として～信頼を食卓へ届ける企業～」

を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
限りある資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none">待機電力の削減やハイブリッドカー等の導入により、CO2削減に取り組みます。精米過程で発生する米ぬか、雑穀類は土壌や田んぼの肥料、養鶏の飼料として活用することで、廃棄物の削減及び循環型社会を実現します。	
地域を代表するダイバーシティ経営	<ul style="list-style-type: none">女性や高齢者を雇用し、時代の変化に合わせた社内規程を整備することで、立場に関係なく活躍できる職場環境の構築に取り組みます。高校生や職業訓練校からの職場体験受入を通じて、地域の農業を支える人材育成に取り組みます。	
お米や農業で北海道を牽引する	<ul style="list-style-type: none">道産米や地元道南産米等を中心に取扱うことで、地域農業及び北海道経済の発展に貢献します。耕作放棄地や遊休農地を活用して生産された商品及び原材料を仕入することで、社会課題解決に貢献し、地域と農業と共に成長し続けます。	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。















東一運送 株式会社

SDGs 宣言書

当社は、経営理念である「誠意と責任をモットーに豊かなサービスを提供する」を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
環境配慮を 全員で実践する	<ul style="list-style-type: none">燃費改善目標の設定や低排出ガス車、ハイブリッド車両等の環境負担の少ない車両を導入することで、グリーン経営を実現します。定期的に研修、勉強会を開催することで、従業員の環境配慮に対する意識の向上を目指します。	   
運送業を牽引する 健康経営の実現	<ul style="list-style-type: none">社会問題となっている運送事業者の事故撲滅の為に、労働時間及び休息の管理を徹底し、従業員と社会の安全確保に取り組みます。長時間労働の抑制や年2回の健康診断の実施により、心身両面での健康促進に取り組みます。	   
北海道経済の 発展に貢献する	<ul style="list-style-type: none">北海道の食品を日本中にお届けすることで、地域の活性化に貢献し、地域経済と共に成長する企業を目指します。健康経営の実現により、安定的な雇用創出に取り組み、地域と全国を繋ぐ企業であり続けます。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。













本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。

株式会社 東青アロー

SDGs 宣言書

当社は、経営理念である「顧客の立場になって仕事を行う。社員の生活向上に努力を払う。会社の成長と安定に全力を尽くす。」を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
限りある資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none">LEDライトの使用や省エネに貢献するエアコンを使用するほか、ハイブリッドカーの導入を検討することで、有害物質及びCO2削減に取り組みます。適切なメンテナンスを実施することで、製品の安全性や耐久性を高め、長期利用を促進します。	   
自分らしく活躍できる企業へ	<ul style="list-style-type: none">定年後も継続雇用する際は、同一条件で雇用することで、いつまでもやりがいを感じられる職場環境の構築を目指します。資格や研修に積極的に参加できる制度を構築し、従業員へ能力開発の機会を提供します。	   
安心安全な地域の創造	<ul style="list-style-type: none">労働安全衛生を徹底し、事故等を防ぎ安全で衛生的な労働環境を構築します。工事作業時に使用している発電機を災害時に近隣住民に貸し出しすることで、地域の早期復興に貢献する活動に取り組みます。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。













本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。

株式会社 義晃

SDGs 宣言書

当社は、経営理念である「事業活動を通じ、人のために尽くし、心から真剣に最後まで取り組むことで光り輝く」を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取り組み	関連するゴール
地域と共に歩む ケーブルテレビへ	<ul style="list-style-type: none">映像の配給は、情報の発信力が高く、視聴者に簡単にわかりやすく物事を伝えることが可能。防災等含め、地域の安全な生活に寄与する事業展開に取り組みます。	   
ワークライフバランス の実現	<ul style="list-style-type: none">育児休暇の促進や15分単位で申請可能な休暇制度等を通じて、福利厚生が手厚い企業を目指します。週1回の会議を通じて、全社員が高い意識で働ける職場環境の構築に取り組みます。	   
環境保全に貢献する 事業活動	<ul style="list-style-type: none">自社で使用する車両、設備は最新の機器を活用することで、省エネに貢献し、環境に配慮した事業活動に取り組みます。使い捨てプラスチックを削減することで、大気、海洋保全に貢献します。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。

株式会社 ハイサポート













SDGs 宣言書

当社は、経営理念である

「
【地域と共にこれからも】
・私たちは一人ひとりの心に寄り添います
・私たちは一人ひとりの自立生活を支援します
・私たちは一人ひとりの笑顔のお手伝いをします
」

を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
環境保全に貢献する福祉サービス	<ul style="list-style-type: none">・タブレット端末等のICTや見守り介護機器等を導入する事で業務量削減及びペーパーレス化を実現し、介護業界のDX化に取り組みます。・3Rの促進やCO2排出を抑制する営業車輛を使用することで、環境保全に貢献します。	   
地域を代表するダイバーシティ企業	<ul style="list-style-type: none">・女性の従業員が8割を超える当社だからこそ、従業員が自分らしく働ける職場環境を構築することで、地域を代表するダイバーシティ経営を目指します。・心身の健康管理マニュアルの作成により、今よりも従業員が働きやすい環境の提供を実現します。	   
地域を支える介護福祉の構築	<ul style="list-style-type: none">・今後迎える超高齢社会への対策として、自社が成長することで、社会課題解決に貢献し、誰もが望むカタチで介護福祉サービスを利用できる地域を創造します。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。















函館工業用品 株式会社

SDGs 宣言書

当社は、経営理念である「地場産業との関係性・従業員の働きやすさを第一に」を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
資源・環境に配慮した事業活動	<ul style="list-style-type: none">事務所内の照明をLED化し、産業廃棄物を削減することで、CO2削減に取り組みます。主要商材であるホースやゴム製品は、リサイクル可能な商材を積極的に取り扱いし、限りある資源の有効活用に取り組みます。	   
従業員が働きやすい企業	<ul style="list-style-type: none">過労や長時間労働を抑えることで、ワークライフバランスのとれる職場環境を構築します。健康診断の実施を通じて、心身ともに健康に働くことのできる職場環境を構築します。	   
地域と共に発展を目指して	<ul style="list-style-type: none">地元企業との、アライアンスを含めた取引・関係性強化を進めることで、地域経済と共に成長できる企業モデルを目指します。地域コミュニティやイベント等への積極的な参加により、社会貢献を目指します。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。













本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。

株式会社 春木商店

SDGs 宣言書

当社は、経営理念である「地元函館のとびきりの味を新鮮なうちにたくさんの人達に食べていただきたい。そして食べた人達みんなが笑顔で幸せになってほしい。」を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
函館の豊かな海の保全を	<ul style="list-style-type: none">商品の発送時には、収容密度を意識し、効率の良い輸送に取り組むことで、燃料及びCO2排出量の削減に取り組みます。発泡スチロールやプラスチックを削減することで、海洋環境及び貴重な水産資源を守り抜きます。	   
地域の水産業界を牽引する企業へ	<ul style="list-style-type: none">女性の積極的な雇用や役員登用により、水産業界を牽引するダイバーシティ経営を実現します。全国へ函館の安心安全で美味しい水産物を届けるとともに、「MSC CoC認証」を取得することで、いつまでも魚を食べ続けられる社会を目指します。	   
これからも共存共栄できる地域を	<ul style="list-style-type: none">食を通じた「函館ブランド」の維持、発展に取り組むことで、人口減少や地域経済の縮小へ歯止めをかけ、観光客及び移住者の増加に貢献します。仕入れから流通まで幅広く事業を展開することで、地元の魅力をより感じられる地域を創造します。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。

富士見総業 株式会社

SDGs 宣言書













弊社は、経営理念である

エネルギーの供給を通じて地域社会に奉仕する。

ガソリン・車検・コーティングなどのカーライフから灯油・LPガスなどのホームエネルギーまで、お客様の快適な生活や企業の円滑な事業活動をインフラ面でサポートし、安心・安全をお約束いたします。

「富士見総業で良かった」そうお客様に思ってもらえる会社を目指し、地域に頼りにされる会社になるために変化を続けてまいります。を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
環境保全に 貢献する SSの構築	<ul style="list-style-type: none">環境基本方針の遵守や認証製品を積極的に活用することで、環境保全に寄与します。地域拠点となるSSを構築することで、災害時でも地域に安定したエネルギーを供給し続けます。	   
地域に必要な とされる企業へ	<ul style="list-style-type: none">性別、年齢、人種にとらわれることなく能力のある人材が活躍できる組織体制の構築に取り組みます。小学校への寄付や介護施設でのボランティア活動を通じて、地域社会に貢献し、地域に寄り添い頼りにされる企業を目指します。	   
地域のより良い インフラの構築	<ul style="list-style-type: none">積載量の多いバルクローリーの導入を通じて、保安の高度化や美観の向上に貢献します。DX化を推進し、お客様の利便性及び満足度向上に取り組むことで、売上・利益の拡大に繋げ、利益を地域に還元するサイクルを構築します。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。















株式会社 フルカワ不動産販売

SDGs 宣言書

当社は、経営理念である「函館市内・近郊の売買・賃貸不動産はフルカワ不動産販売にお任せください」を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
環境保全に貢献する不動産販売	<ul style="list-style-type: none">LEDライトなどの省エネに貢献する設備を導入した物件を販売することで、地域の消費エネルギー削減に貢献します。ゴミステーションを設置した物件などを通じて、適切な廃棄物の処理及び3R促進に取り組みます。	   
従業員がより輝ける職場環境	<ul style="list-style-type: none">残業や長時間労働を抑制し、フレックス勤務などを利用しやすい職場環境を構築することで、ワークライフバランスの実現を目指します。健康診断の実施を通じて、心身両面での健康促進に取り組み、健康経営を実践します。	   
不動産販売で地域貢献を	<ul style="list-style-type: none">遊休農地などの未活用な土地を買取り、分譲住宅として、販売することで、地域資源の有効活用に取り組みます。空き家問題などの社会課題の解決に貢献することで、元気ある地域の創造を目指します。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。













本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。

有限会社 南山林種苗農園

SDGs 宣言書

当社は、経営理念である「家業を継ぐ、森を未来に繋ぐ」を体現するため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
限りある資源の保全を意識した事業活動	<ul style="list-style-type: none">低燃費のトラクターを使用することで、CO2削減及び石油資源の保全に取り組みます。行政と連携して廃棄物の処理を適切に実施し、農薬の散布量や水の使用量の削減に取り組むことで、環境に配慮した事業活動を行います。	   
風通しの良い職場環境の構築	<ul style="list-style-type: none">ハラスメントに関する研修等を定期的実施することで、ハラスメントを未然に防ぎ、全従業員が働きやすい職場環境を構築します。健康維持に関する方針や就業規則を策定し、実行することで、従業員の健康促進に取り組みます。	   
循環型社会の実現	<ul style="list-style-type: none">地域の植樹祭に積極的に参画し、苗木の提供を行うことで、緑溢れる地域を創造します。通常は廃棄する堆肥を地元の酪農家から買い取り、有機肥料として畑で使用することで、地域資源の活用及び循環型農業を促進します。	   

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。

株式会社 リーベ

SDGs 宣言書

当社は「北海道経済・農業への貢献」を体現するべく、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

2024年3月

テーマ	具体的な取組み	関連するゴール
環境に配慮した事業活動	<ul style="list-style-type: none">仕入数量の管理を徹底し、在庫に応じた価格設定とすることで、売れ残りによる廃棄物の撲滅を目指します。貸与する制服の多様化を通じ、クールビズやウォームビズを推進することでCO2削減に取り組みます。	
従業員満足度の高い企業へ	<ul style="list-style-type: none">ライフスタイルや時代に合わせた柔軟な勤務形態を整備することで、従業員ファーストで、やりがいを持って働くことができる職場環境を構築します。携帯端末で社内情報やルール、規律等の周知を通じて、風通しの良い企業を目指します。	
北海道経済と農業の発展を	<ul style="list-style-type: none">職場体験の受入を通じて、農業及び一次産業の啓蒙活動に取り組みます。確かな目利きで地場の高品質で新鮮かつ安心安全な野菜を仕入れ、販売することで、地域農業の発展に貢献します。	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書はみちのく銀行の『<みちぎん>SDGs取組評価サービス』にて作成支援致しました。

